

令和4年度 第1回 静岡市立日本平動物園運営委員会議事録

日 時 令和4年10月3日(月) 午前10時00分から正午まで

場 所 日本平動物園 2階 大会議室

出席者 運営委員：小山委員長、高委員、田宮委員、永岡委員、松田委員、矢作委員
(欠席) 桂山委員

事 務 局：竹下参与兼日本平動物園長、山本園長補佐兼企画係長、平野主幹兼施設係長、
岡村飼育第1係長、柿島主幹兼飼育第2係長、松下動物病院係長、望月主査、
西岡主任主事

オブザーバー：一般財団法人 静岡市動物園協会 芝原事務局長

傍聴者：なし

内 容

- 1 委嘱状交付式
- 2 開会
- 3 園長あいさつ
- 4 委員長選出
- 5 議事
 - (1) 令和3年度の事業実績について
 - (2) 令和4年度の事業計画について
 - (3) 現況報告
 - ①飼育動物の近況について
 - ②飼育動物の繁殖状況と来園・出園・死亡動物について
 - ③改修工事・修繕業務 進捗状況
 - ④その他
 - ⑤大型動物導入推進事業について
- 6 閉会

< 議 事 録 >

【委嘱状交付式】

(司会：山本補佐)

今年度就任された委員の皆様の委嘱式を開催する。

日本平動物園長より各委員委嘱状を交付。

【開 会】

会議は公開とすること、傍聴者がいないこと(定員3名としたこと)、委員の出席は7名中6名であるが、田宮委員が所用により少し遅れること、桂山委員は所用により欠席の旨を報告。

【園長あいさつ】

(竹下園長)

あいさつの前に、1点報告させていただく。

去る9月23日から24日にかけて、台風による影響により静岡市全域、特に清水区においては甚大な被害が発生した。被災等された方にお見舞い申し上げます。

当園でも被害が発生し、9月24日は臨時休園となった。具体的な被害としては、来園時に使用される進入路や第2駐車場などの法面崩落や第4駐車場への土砂の流入、エントランス事務所の床上浸水のほか、最も甚大な被害として、ローラースライダーの崩落があったが、幸いなことに動物や獣舎への被害はなかった。土砂の除去など応急対応により、翌25日から開園しているが、ローラースライダーの崩落により、遊歩道も被害を受け、オートチェアは目立った被害は現在確認されていないが、安全面の確保ができないことから、同施設と山頂エリアについては、当面の間、利用ができない。今後は、国等の災害復旧など活用して、必要な予算要求など、現況回復のための措置を図っていく。

さて、いまだに猛威を振るう新型コロナウイルスだが、当園でも感染予防対策に重点を置きつつ、実に3年ぶりとなる「夏の動物園まつり」や大人気の「夜の動物園」などを開催したほか、「小動物とのふれあい」イベントを再開した。しかし、感染者数の拡大の波のせいも、入園者数については、未だにコロナ禍前の水準までには回復しておらず、まだまだ時間がかかる状況にある。

また、5月にはアジアゾウのシャンティが、8月にはシロサイのサイコが亡くなり、開園から53年を迎え、大型動物などの高齢化に伴う今後の継続的な動物飼育や、施設の老朽化に伴う再整備など、これからの日本平動物園のあるべき姿を考えていく時期に来ている。

本日、新たに就任いただいた運営委員の皆様には、当園の運営等に対して、忌憚のないご意見をお願いしたい。

ー 田宮委員、来会。日本平動物園長より委嘱状を交付。 ー

【委員長選出】

(山本補佐)

続いて次第4「委員長選出」について、暫時、仮委員長を竹下園長が務めさせていただく。

(仮委員長：竹下園長)

それでは、暫時、仮委員長を務めさせていただく。「委員長選出」についてお諮りする。

「静岡市立日本平動物園運営委員会規則第5条第1項」の規定により、委員会の委員長は、委員の互選により定めることとなっている。どなたか、立候補、又は推薦はいかがか。

(矢作委員)

事務局に一任する。

(仮委員長：竹下園長)

矢作委員より事務局一任のご発言があったが、いかがか。

(各委員)

ー異議なしー

(仮委員長：竹下園長)

事務局一任とのご発言をいただいたので、事務局として(案)はあるか。

(山本補佐)

事務局としては、学識経験者である小山委員にお願いしたい。小山委員は、静岡県立大学「ふじのくに未来共育センター」の地域連携コーディネーターとして、様々な地域課題の解決に取り組んでおられる。多くのワークショップのファシリテーターを務めるなど、会議を円滑に進める経験が豊富であるため、小山委員を委員長として提案させていただく。

(仮委員長：竹下園長)

ただいま事務局より提案があったが、委員の皆様いかがか。

(各委員)

－異議なし－

(仮委員長：竹下園長)

それでは、小山委員を委員長に決定する。ここからは、小山委員長に議事進行をお願いする。

続いて、静岡市立日本平動物園運営委員会規則第5条第4項の規定により、委員長が欠席したときのために「委員長の職務代理者」をあらかじめ委員長が指名しておくことになっているので、はじめに、委員長から職務代理者の指名をしていただく。

【職務代理者指名】

(小山委員長)

「職務代理者」について、私は、地元自治会長と当運営委員会の委員を長きに渡り努めておられる田宮委員にお願いしたいと思うが、いかがか。

(田宮委員)

－ 承諾 －

(小山委員長)

田宮委員に職務代理者をお願いする。

【議 事】

(小山委員長)

規則に基づき議長を務める。会議が円滑に進むよう委員各位の協力をお願いしたい。

次第に沿って項番5の(1)から(3)の令和3年度の事業実績及び令和4年度の事業計画等の順に事務局より一括説明をお願いする。

【事務局説明】

(説明：山本補佐)

議事(1) 令和3年度事業実績

事前にお渡しした資料を基に各項目の要点を一括して説明する。

① 令和3年度の実績について

令和3年度の入園者数、収入額について、緊急事態宣言を受けた臨時休園等があったが、令和2年度と比べ共に1割強増加した。

令和2年度と同程度の臨時休園期間があったが、令和3年度はゴールデンウィークのある5月に開園できたことが増加の大きな要因と考えるが、コロナ禍前の水準には回復しては

いない。

② 入園者の推移について

過去3年度を含む月別の入園者の推移は、2ページのとおり。令和2年3月ころよりコロナによる影響を受けている。

③ 新型コロナウイルスへの感染予防対策について

園内における新型コロナウイルスへの感染予防対策については、記載のと通りの対応を実施し、来園者向けの手指消毒液の設置や定期的な感染予防対策への協力をお願いした。

④ 園内イベント実績について

令和3年度の園内イベントの実績は4、5ページのとおり。

令和2年度に比べ、開催できたイベントは増加したが、基幹イベントである夏、秋の動物園まつりや夜の動物園などは中止とせざるを得なかった。コロナ禍前であれば、年間200回を超えるイベントを開催しているが、その半分程度である。今後も感染予防対策を講じ、多くのイベントを企画、開催していく。

⑤ 企業連携事業について

企業との連携事業は6ページのとおりで、多大な寄附のほか、備品の寄附もいただいた。

議事(2) 令和4年度事業計画

① 令和4年度事業計画について

令和4年度の事業計画については、資料7ページからとなり、事業計画そのものは、例年と大きく変更はない。

7ページ中段(3)計画概要の入園者数だが、8月末現在で昨年より2割強増加している。

9月の入園者数は28,568人で、9月末現在で212,427人となり、昨年より4割増となったが、令和3年度は8月20日から9月末まで臨時休園をしていたこともある。

現在の状況では、年間目標入園者数は達成する見込み。

8ページからの(4)主要事業は、記載のとおりで、こちらも例年と大きな変更はない。

10ページの夜の動物園は3年ぶりの開催となり、本日までに3回(9/3、9/10、10/1)開催したが、天候にも恵まれ、久しぶりの夜の動物園に、園内には多くの来園者の笑顔で溢れていた。なお、3回目の10月1日の入園者数は3,499人、3回の合計は8,026人となり、令和元年度の3回の合計の12,679人に比べ、4,653人減となった。

コロナ禍前と比べ、数値が伸び悩んだ要因は様々あるが、来園者の人数制限は設けていないが、駐車場の台数制限を課したことや、未だコロナ禍における外出抑制の意識があるためなどではないかと考えている。今週末が最後の夜の動物園となるので、一層のおもてなしで来園者をお迎えしたいと考えている。

議事(3) 現状報告

① 展示動物の近況報告について

ホッキョクグマについては、今年初めに交尾行動を確認したことから、出産に備えた環境整備をしている。

繁殖については、昨年度当園で初めての繁殖となった「モモイロペリカン」が2年連続での繁殖に成功した。

② 来園動物について

来園動物については、13 ページのとおり。

本資料の送付後に、今月 31 日に日立市かみね動物園よりキリンのメス「クルミ」1頭が来園することになった。当園では、現在オスの「ダイヤ」（5歳）1頭を飼育しているが、自然界ではキリンは群れで生活をしていることから、今回の「クルミ」の来園により単独での飼育から複数頭での飼育となり、キリンを飼育していく上で望ましい環境が整う。

③ 出園動物について

14 ページの出園動物について、ジャガーの小麦が日立市かみね動物園に出園した。

小麦は令和3年11月に誕生し、同じ日に生まれた双子の姉の小春がいる。それぞれ両親の体色を引き継ぎ、小麦は黄色、小春は黒色。小春は当園で継続飼育している。

両親の「卯月小助」と「小梅」にとっても、また当園にとっても初のジャガーの出産で、一般公開を始めた今年3月からは、その愛くるしさから、多くの来園者の人気を集め、当園の新たなアイドルとなった。

④ 死亡動物について

今年5月5日にアジアゾウのシャンティが、8月21日にはシロサイのサイコが死亡した。シャンティは開園翌年の昭和45年にインドのマイソール州より、サイコは開園20周年記念動物として、平成元年にアドベンチャーワールドより来園した。

2頭とも、長きに渡り来園者の人気を集め、世代を超えて愛されてきた、当園の顔ともいえる存在だった。

⑤ 主な施設修繕について

主な施設修繕については、16 ページのとおりで、中型サル舎の大規模改修及びオートチェアの修繕を実施している。

⑥ その他報告事項について

新聞報道等でもご存知かと思うが、今年5月に園内のサイ舎展示スペースに設置していた「サイの角」が盗難の被害に遭った。被害届は同日中に提出、現時点においてその行方は不明。開園後これまでに、こうした事例はなかったが、今回の件を受け、対応可能な警備体制等の強化を実施済み。なお、今後も警備等強化に必要な予算措置等を講じていく。

もう1点は、「日本平動物園将来構想（案）」の策定について。

動物園の4つの使命を推進していく中で、近年ますます高まる『動物福祉』への対応が求められている。また開園から50年を経過し、獣舎施設の老朽化や飼育動物の高齢化など様々な課題があり、こうした課題にどのように対応するか、持続可能な当園の将来あるべき姿を示す「将来構想」を策定するため、園職員を中心とし、関係課や公募による他部署の市職員も交え、プロジェクトチームを発足することとした。

今後、内部での検討を重ねていき、パブリックコメント等による市民意見を反映させ、年度末の完成を予定している。

⑦ 大型動物導入の推進事業について

当園は、アジアゾウの新規個体導入を実現させるため、タイ王国を含む原産国の調査を実施している。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行と、原産国の国政不安定によるところから、ここ2年ほど現地調査ができていない状況にある。

海外渡航の条件緩和もされつつあるため、各原産国の情勢を見守りつつ、導入の可能性について引き続き調査をしていく。

事務局からの説明は以上です。

【 質 疑 応 答 】

(小山委員長)

事務局の説明について質疑を行う。

(永岡委員)

現在、新静岡セノバとコラボイベントを実施しているのを知り、いい取り組みだと思ったが、どのような経緯で開催に至ったのか。また、こうした民間企業との連携は通常業務の一環か。

(事務局：山本補佐)

企業等との連携は常に意識している。今回のセノバとの連携については先方から連携の打診があり協議を重ねて実現した。中心市街地と日本平動物園を繋ぐことで、「交流人口」の拡大、「人の動き」が起こる仕組みづくりに留意して協議した。この連携事業は通常業務範囲外ではあるが大変価値のあるものと考えている。

(高委員)

若者が動物園に来ることは少ないと思う。食堂や売店のメニューなど若者にSNS投稿してもらえるようにインスタ映えするようなメニューを開発してはどうか。

(事務局：竹下園長)

ご提案いただいたような魅力ある商品や情報発信は重要であると考えている。レストハウス、売店の運営は、本日参加している動物園協会が担っている。いただいた提案を踏まえ、同協会スタッフと共に、より魅力的なメニューを開発するための参考にしていきたい。

(田宮委員)

動物に対する熱中症対策はどのようにしているのか。

(事務局：柿島係長)

水まきや日除け、扇風機や空調機などで対策しているが、それでも暑さが厳しい時は、高齢な動物、暑さが苦手な動物は早めに収容することもある。

(田宮委員)

先日の台風の影響で川の水が濁った。園では大きな土砂崩れはあったか。

(事務局：竹下園長)

先ほどのあいさつでお話させていただいたが、園への進入路や第2駐車場などで崖崩れがあった。今回の台風に限らず、大雨が降ると第4駐車場への土砂の流入があるため、若干川へ流入したのかもしれない。

(矢作委員)

来園者に対し、感染対策としてのマスク着用の指示はどうなっているか。

(事務局：竹下園長)

引き続き、マスク着用や手指消毒などを看板や園内放送にてお願いしている。

(矢作委員)

台風被害で崖崩れがあったとのことだが、ローラースライダー以外は復旧しているのか。

(事務局：平野係長)

ローラースライダーの崩落により安全面の確保ができていないことから、同施設のほか、オートチェア、山道そして山頂エリアを当面の間、休止させていただいている。

(小山委員長)

台風の被害でローラースライダーや山道などに被害があったとのことだが、どのくらいの期間利用ができないのか。

(事務局：竹下園長)

まずは安全の確保、確認が必要なため、利用を停止させていただいている。今後復旧に向けた対応を図っていくが、安全確保ができた後でないと修繕が難しい。少なくとも年度内、場合によっては1年程度かかる可能性がある。

(小山委員長)

山頂広場、ローラースライダーなどを目当てに来園する方もいると思うので、情報発信をしっかりとってほしい。

(松田委員)

コロナ禍が続いているが、人数制限をかける予定はあるのか。混雑具合としては、どの曜日が混んでいるのか。

(事務局：竹下園長)

原則、人数制限は設けていない。行楽シーズン期は全体的に混み合うが、混雑は土日祝日が主で、平日は空いている。

(松田委員)

1日の最大入園者数は何人くらいか。

(小山委員長)

人数制限はしていないとのことだが、園としてのおおよその指針はあるのか。

(竹下園長)

ゴールデンウィークが一番多く、1日で1万人を超えることもある。原則、人数制限を設けていないが、ゴールデンウィーク期間は、園内滞在者数の上限を5千人としていた。今年の場合でも時間単位での園内滞在者数は、最大4千人強で、5千人を超えることはなかった。その他の制限としては、以前は猛獣館等で一方通行の措置をしていたが、現在は制限していない。

(永岡委員)

将来構想策定に関連して、動物園の必要性やゾウ導入についてアンケートをとったことはあるか。動物園の運営はお金もかかると思うが、種の保存等、動物園の4つの使命など上手に説明してまとめていただきたいと思う。

(事務局：竹下園長)

50年前に開園した当初はエンターテインメント性が強かったが、現在は4つの使命に加え動物福祉に重きを置き、運営していくことが求められている。

ゾウ導入について、幅広く市民アンケートをとったことはないが、園内アンケートとして意見を聞いたことはある。概ねよい回答であった。

(小山委員長)

動物園の役割、4つの使命という考えがあることは理解するが、来園者が学ぶために動物園に来るのではなく、動物園に行くと様々な事が自然に学べる仕組み仕掛けがあるとよい。

(矢作委員)

今回の台風被害で清水区が断水となったが、動物園では動物向けに水の備蓄などはあるのか。

(事務局：竹下園長)

動物向けは基本的に井水、井戸水を使用している。水道水についてはタンクもあるが、容量は1週間程度と思う。災害によっては、水脈にも影響が出るかもしれないが、使用場所や量を制限しながらの対応となると思う。

(松田委員)

葵区では長い時間の停電はあったが、動物園は大丈夫であったか。

(事務局：平野係長)

動物園は幸い停電がなかった。長時間の停電時には自家発電機で対応する。

(小山委員長)

動物園は、命を扱う場所。今回の台風での教訓を生かし、対応の見直しや再確認を行うきっかけにしていきたい。

(小山委員長)

ほかに質疑がなければ、終わりとさせていただく。

事務局は、各委員から出された意見等について取組んでいただき、その結果や方向性などを次回の運営委員会で報告してほしい。